

平泉スマート IC の整備について

岩手県 平泉町 建設水道課

平泉町の概要

平泉町は、岩手県の南部に位置し、北は奥州市、南は一関市に接しており、県都盛岡市から南に約 83km の距離にあります。

町の人口は約 7,200 人、面積は岩手県で一番小さい 63.39km² で、東部には東稲山（たばしねやま）を主峰とする 500m 級の連山、西部は奥羽山脈に続く丘陵地が縦走し、中央部には北上川が南北に流れており、流域の両側には田園地帯が広がっています。

平泉は、平安時代末期に奥州藤原氏が築いた華麗な黄金文化の名残を今もなお色濃く残していることから、東北有数の観光地として国内外から多くの観光客が訪れており、平成 23 年 6 月には、国宝建造物第 1 号である金色堂や重要文化財が現存している中尊寺をはじめ、毛越寺、無量光院跡、観自在王院跡、金鶏山の合計 5 つを構成資産とした「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」として、国内で 12 番目、東北では初となる世界文化遺産に登録されました。また、世界遺産周辺の自然環境と一体となって形成する文化的景観を将来の世代に保存継承するため、平成 17 年 1 月から景観条例を施行し、世界遺産にふさわしい親しみと誇りの持てるまちづくりの実現を進めています。

平泉町の主要な道路は、東北自動車道、一般国道 4 号が縦断しており、物流及び生活圏の形成に重要な役割を果たしています。

公共交通は、東北新幹線の一ノ関駅が隣接している一関市にあり、在来線の東北本線が町の中央を通過して JR 平泉駅が中心部にあることから、多くの観光客や通勤通学の交通手段として利用されています。



スマートインターチェンジの整備について

スマートインターチェンジは、既存の高速自動車道の有効活用や地域生活の充実、地域経済の活性化を推進するため建設・管理コストの削減が可能であり、平泉町では、観光業の振興と地域産業の活性化などにおいて重要な役割を担うものとして、平成 26 年に事業を開始し、並行して連結道路である町道祇園線

の整備を行い、事業化から約7年の令和3年12月4日に岩手県内では4番目となる平泉スマートインターチェンジが開通しました。



【はさみ入れ・くす玉開披】

平泉スマートインターチェンジは、東北自動車道の一関インターチェンジから北に4.4km、平泉前沢インターチェンジから南に7.1kmの場所に位置しています。

運用形態は、一旦停止型のフルインター形式で、上下線の出入り口を1箇所集約した本線直結の上下線集約スマートインターチェンジとなっており、ETC車載器を搭載した全車種が利用可能となります。

連結道路との交差点形状は、渋滞対策や災害時の停電対策として利点がある環状交差点（ラウンドアバウト）として整備していることから、スマートインターチェンジの利用方法と併せて、通行方法など誤進入対策も含め利用者への周知に努めています。



E4 東北自動車道 平泉スマートインターチェンジ



平泉スマートインターチェンジは
本線直結の上下線集約スマートインターチェンジです。



24時間、365日、お客さまの声を聴き取っています。
NEXCO 東北 平泉スマートインターチェンジ
☎ 0570-024-024
FAX 03-5308-2424

高速道路に関する情報は「ドライブプラザ」で
www.driveplaza.com/
ドライブ 検索

整備効果について

既存の平泉前沢インターチェンジは、町の北端に位置しており、東北自動車道の交通利便性が十分に発揮されていない状況でしたが、町中心部に近い位置に平泉スマートインターチェンジを設置し、また、併せて駐車台数約1,100台の無料駐車場を隣接に整備することで、観光客の利便性の向上による観光振興や観光期の渋滞緩和等の整備効果が期待できるとともに、周辺地域の活性化に寄与するものと考えております。



【平泉スマートインターチェンジと隣接の無料駐車場】

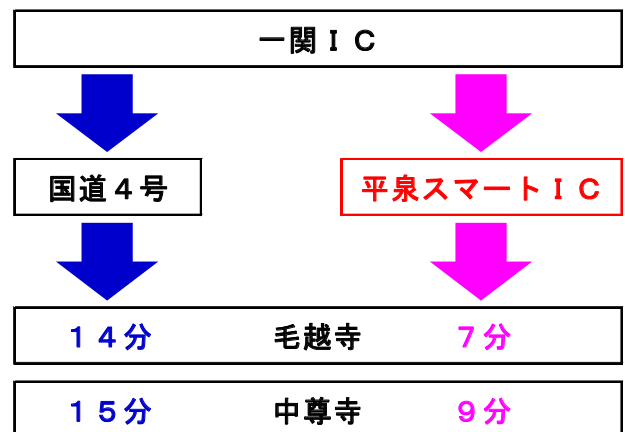
(1) 観光客の利便性向上による観光業の振興

世界遺産登録されたことにより、国内外からの観光客が増えており、スマートインターチェンジを整備することで、高速道路と観光地のアクセス時間が短縮し（仙台方面から一関インターチェンジ利用と対比して6～7分短縮）、遠方からの利便性を向上させることで、観光業の活性化が期待されます。

【一関 I C⇒主要観光地】

《整備前》

《整備後》



6～7分短縮

(2) 観光期の渋滞緩和

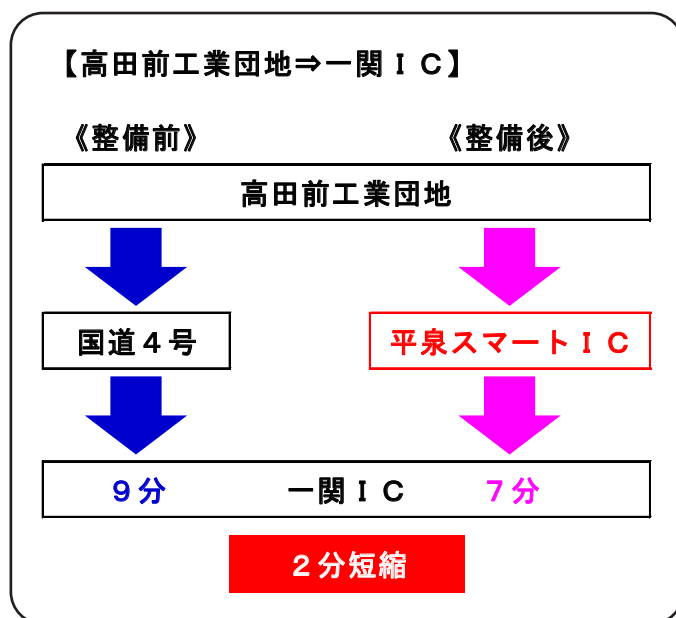
平泉町には、中尊寺や毛越寺をはじめとする多くの史跡や名所が点在しており、その観光ルートを形成する国道4号において、自動車交通が増大し、特に「春の藤原まつり」等の観光交通集中期には、著しい渋滞が発生しております。国道4号は、岩手県の主要渋滞箇所指定されており、スマートインターチェンジの整備により、既存のインターチェンジから観光客の交通が転換・分散されることで、渋滞緩和が期待されます。

また、近接に整備した駐車場については、パークアンドライドによる地域内交通への乗り換え拠点として位置づけておりますので、町内巡回バスのルート拡充を行うことで、更なる渋滞緩和が図られることに期待を寄せています。

(3) 物流の効率化による企業誘致の促進及び地域産業の活性化

スマートインターチェンジの整備により、平泉町の中心部に近い高田前工業団地から南方面へのアクセス性が向上し（一関インターチェンジを経由する場合と対比して所要時間2分短縮）、物流の効率化や高田前工業団地への企業誘致の促進など地域産業の活性化が期待されます。

なお、高田前工業団地の企業誘致率は、事業開始前は37%でしたが、現在100%となっています。



(4) 居住者の利便性向上

スマートインターチェンジが設置されることにより、インターチェンジのアクセス10分圏人口が増加し、町民の約95%が圏域に含まれる（スマートインターチェンジ設置前は、約58%）ことから、町民の買い物や旅行、事業所の商品取引等の利便性の向上が期待されます。

工事の特色

平泉スマートインターチェンジの整備にあたり、東北自動車を横断するボックスカルバートを設置する際、工事費用の縮減を図るため、東北自動車道を迂回させて施工しました。

また、迂回路に使用した盛土材を撤去する時期の調整を行い、接続道路及び駐車場工事の盛土に再利用することでも工事費用を縮減することができました。



【東北自動車道の迂回状況（令和元年 10 月 25 日撮影）】



【完成状況（令和 3 年 9 月 28 日撮影）】

「輝きつむぐ理想郷」の実現に向けて

平泉スマートインターチェンジの整備にあたっては、国土交通省東北地方整備局及び岩手県からご指導を頂きながら、事業化に向け関係機関と調整・検討を重ね、事業化後は、用地取得で地権者皆様方にご協力を頂き、共同事業者の東日本高速道路株式会社東北支社と平泉町が一体となって事業を進めました。

平泉スマートインターチェンジは、先行して整備された道の駅「平泉」、県立平泉世界遺産ガイダンスセンターと相乗効果を生み、発展的なまちづくりに欠くことのできない重要拠点であり、今後は、地区協議会を中心とした利用促進、利用者や周辺地域の安全性の確保に向けた取り組みのほか、令和4年7月開館予定の平泉町学習交流施設など観光地としてさらなる整備と充実を図り、コンパクトな町ならではの地域力を生かし、人・産業・自然・歴史などのあらゆる輝きをつむぎながら、新しい時代の理想郷づくりを目指していきます。



【春の藤原まつり（源義経公東下り行列）】

毎年5月3日、世界文化遺産に登録されている毛越寺から中尊寺まで行列します。